

令和元年度

事業報告

社会福祉法人あまくさ福祉会

- 地域生活支援センターグリーン
 - ・指定特定相談支援事業
 - ・生計困難者レスキュー事業
 - ・自立訓練(生活訓練)事業
 - ・生活介護事業(共生型通所介護)
- 就労サポートセンターぴ～す
 - ・就労継続支援A型事業
 - ・就労継続支援B型事業
- グリーントパス
 - ・介護サービス包括型共同生活援助

令和元年度 指定特定相談支援事業報告

【1】概況

指定特定相談支援事業者として相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援出来るものをサービス等利用計画にて作成し、支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行っている。

同時に、必要に応じて医療関係者、学校関係者、各事業所、地域の保健師や保健所等関係機関や専門機関と連携し、障がい児者の意思や人格を尊重し地域で生活していくための相談・支援も行っている。

【2】本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計画	報告
1. 障がい者ひとりひとりのニーズに応じて計画作成を行い、本人やご家族が安心して生活できる支援を提供する	1. 障がい者各々の意思の確認と尊重を基本とし、それぞれが生き活きと暮らすための計画相談の提供を行った。
2. 障害者の権利擁護の視点に立ち、本人が抱える課題の解決や適宜なサービス利用に向けて関係機関と連携・情報交換しながら必要時に必要な支援を提供する	2. 本人、家族、関係機関と共に適宜ケア会議を開催しながら課題の解決やより良い支援に向けての協議を重ねた。また、状況に応じ本人さんが必要とする福祉サービスの見直しを行い、体調の変化に応じては障害支援区分の認定の再調査の手配等を積極的に行った。

【3】相談支援・障害種別利用者契約状況

(1) 計画相談 月別実施状況

※相談件数についてはのべ人数

令和元年度 月別利用者 状況	月	モニタリング件数	計画作成件数	※相談件数	合計
	4月	13件	2件	95件	110件
	5月	20件	2件	89件	111件
	6月	13件	4件	76件	93件
	7月	8件	7件	85件	100件
	8月	9件	2件	90件	101件
	9月	16件	10件	78件	104件
	10月	8件	5件	94件	107件
	11月	12件	4件	89件	105件
	12月	18件	3件	76件	97件
	1月	14件	3件	91件	108件
	2月	8件	3件	74件	85件
	3月	9件	14件	89件	112件
合計	148件	59件	1,026件	1,233件	

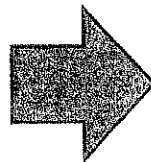
(3) 支援内容内訳

※相談件数の内訳

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用に関する支援	192	家計・経済に関する支援	55
社会資源の活用に関する支援	102	生活技術に関する支援	5
障がいや病状の理解に関する支援	73	就労に関する支援	32
健康・医療に関する支援	148	社会参加に関する支援	4
不安の解消・情緒安定に関する支援	167	余暇活動に関する支援	2
保育・教育に関する支援	6	権利擁護に関する支援	5
家族関係・人間関係に関する支援	235	その他福祉に関する支援	0
		合計	1,026

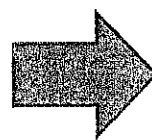
(4) 障害別利用契約者数の前年対比

平成30年度 利用契約者数			
身体障害者	3名	難病対象者	1名
知的障害者	1名	(男性利用者)	37名
発達障害者	2名	(女性利用者)	34名
精神障害者	60名	合計利用者	71名



令和元年度 利用契約者数			
身体障害者	3名	難病対象者	1名
知的障害者	5名	(男性利用者)	36名
発達障害者	2名	(女性利用者)	34名
精神障害者	59名	合計利用者	70名

平成30年度 サービス種別数			
居宅介護	19名	同行援護	1名
生活介護	14名	自立訓練	13名
通所介護	0名	就労継続支援A型	7名
共同生活援助	11名	就労継続支援B型	24名



令和元年度 サービス種別数			
居宅介護	21名	同行援護	1名
生活介護	15名	自立訓練	12名
通所介護	5名	就労継続支援A型	8名
共同生活援助	13名	就労継続支援B型	22名

令和元年度の相談支援実施計画を振り返り、計画相談の全体利用者は横ばいとなっている。計画相談利用の契約者を闇雲に確保するのではなく、「計画相談の事業所を利用していない」かつ「現状困っていて、相談支援によるサポートが急務」と判断した利用者を中心に契約の締結を行った。この方針は今後も変更予定はなく現状の計画相談利用者への質の向上を図りたい。ベースに平成30年度報酬改定により標準件数を一定程度超過する場合基本報酬逡減性が導入されたことも含まれる。相談支援専門員に求められることは、意思決定支援への配慮、高齢障がい者への対応やサービス等利用計画の質の向上、障害福祉サービス支給決定の適正化を図り、質の高いケアマネジメントを含む地域を基盤としたソーシャルワークを実践できることである。当事業所の特徴として精神障害者からの相談が多い。業務の性質上、精神障害者への相談において、相談者としてしばしばカウンセラーの様な図式に陥ってしまい長時間を要するのが常となっている為に業務の時間確保が困難となっている。支援員の技術と根気、包容力が求められる所である。共に、障害種別のとらわれない相談があり課題が複雑化していることが多いため相談支援専門員としての力量も求められている。高齢障がい者のケアマネジメントをする事でも介護保険サービスの円滑な利用のため、分野の垣根を越えて取り組み一定の成果を出していきたい。今後、実践力の高い相談支援専門員として実践の積み重ねを行いながらスキルアップしていかなければならない。

令和元年度 生計困難者レスキュー事業報告

【1】事業の趣旨・目的

昨今の社会情勢等により、「生活困窮」「孤立・孤独死」「DV」など、様々な生活問題・地域課題が広がっており、制度では対応できない問題で苦しんでいる人たちも少なくありません。

本事業は、高齢者の介護・障がい者への支援等、様々な専門性を備え、長年に渡り地域で福祉を支えてきた社会福祉法人が、こうした課題に向き合い、訪問・相談を通じて、困りごとが解決できるようにお手伝いをお行う社会貢献の取り組みです。生計困難者が公的な制度やサービスなどを受けられようになるまでの間、必要に応じて生活必需品の給付、一時的な住まいや食事提供等の経済的援助を実施します。

私たちの専門性や強みを活かすだけでなく、地域で連携してネットワークを作ることで様々な支援を展開し、地域に信頼される社会福祉法人であり続けることを目的とします。

【2】事業の特徴

- (1) 事業を実施する法人の施設にコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置
- (2) 県・市の福祉事務所など公的機関や市町村社協、民児協等と連携し重層的な支援体制の構築を目指す
- (3) 対象者を限定せず、すべての生計困難者を対象とする
- (4) 施設に総合相談窓口を開設し、生計困難者の生活課題に対応する
- (5) 必要に応じて経済的援助をおこなう。現金給付ではなく、担当のCSWが買い物や支払に同行するなどして現物給付で行う

【3】レスキュー事業の実施状況

※令和元年3月31日現在

(1) 支援実施状況

1) 支援受付報告書提出	8 件		
2) 支援終了記録提出	8 件		
3) 基金支払請求	8 件	計	107,322円
4) 支援継続中	1 件		

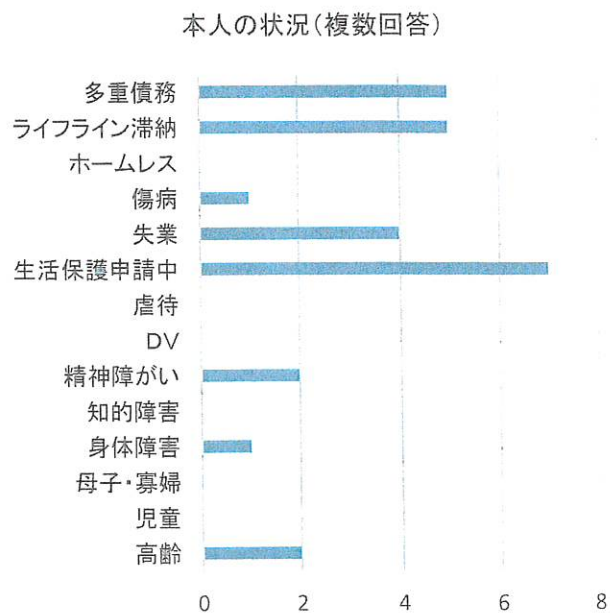
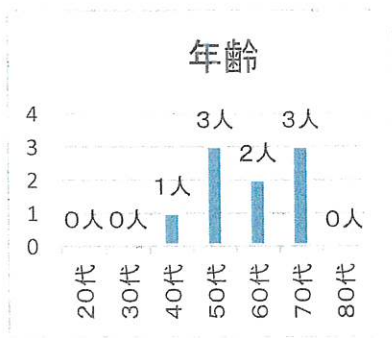
(2) 支援ケースの状況

月別相談 受付件数

4月	0件
5月	0件
6月	0件
7月	2件
8月	2件
9月	1件
10月	0件
11月	0件
12月	0件
1月	1件
2月	2件
3月	1件
計	9件

対象者 男女別

男	8
女	1
計	9



対象者 平均年齢	平均 支援期間	平均 訪問回数	平均 同行支援回数	基金 支払総額	平均 基金支払額
62.7歳	11.3日	3回	2.8回	107,322円	11,925円

○ 生活困難者レスキュー事業に伴う相談者の現状と、これからの課題について

増え続ける生活保護受給者や、その前段階の生活困窮者の背景には、非正規雇用の増加による雇用の不安定化や、地縁・血縁や近所付き合いの希薄化で生活が困窮しても助けを求める先が無いなどの経済的・社会的な問題があります。また、相談者が困窮している理由が複合化しているのも近年の特徴で、失業や病気、アルコール依存症、金銭トラブル、引きこもり、障がいといった理由が重なり、家族関係が崩壊していく例もあり支援期間が長期化する傾向にあります。これまでも、様々な生活困窮者支援のための個別の制度はありましたが、「制度の狭間」に陥り支援が行き届かない事例もありました。しかし、本事業においては、多様化・複合化する生活困窮者の課題に対応する包括的な支援に加え、困窮者の発するSOSを待つのではなく早期に困窮者を把握し課題が深刻になる前に解決を図っています。

来年度に向けて重点をおくところは連携強化による早めの気づきです。個人情報を多く持っている行政との連携・協力がこれまで以上に不可欠であることは必須です。生活困窮者が早い段階で分かり、相談を進めやすい環境づくりのために福祉事務所や地域包括支援センター、保健師、区長、民生委員・児童委員等、関係機関・団体に本事業を周知し協力をよびかけながら支援を行うことを今後の課題とします。

自立訓練(生活訓練)事業 事業報告

【1】施設名

地域生活支援センターグリーン

【2】目的

知的障害または精神障害のある方に対して、障害者支援施設、障害福祉サービス事業所または障害のある方の居宅において、入浴、排せつ、食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談および助言などの支援を目的とする。

【3】利用定員

10名（令和2年3月31日時 登録10名）令和元年度新規利用者3名

【4】利用者情報

性別	年齢							
	18歳～20歳	21歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～79歳
男性	1名	0名	0名	3名	0名	2名	0名	
女性	0名	0名	0名	2名	2名	2名	0名	

【5】職員配置

職名	職員配置	
	専任	兼務
管理者		1名
サービス管理責任者		1名
生活支援員	1名	
生活支援員(訪問兼務)	1名	

【6】利用期間

原則2年間(1年延長可)

【7】事業内容

(1) 個別支援計画

- ①本人の意向に沿った計画を個別に立てて実施する。
- ②個別支援計画に策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員と担当者会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③一か月に一回モニタリングを行い個別支援計画が適正に遂行されているかを確認する。

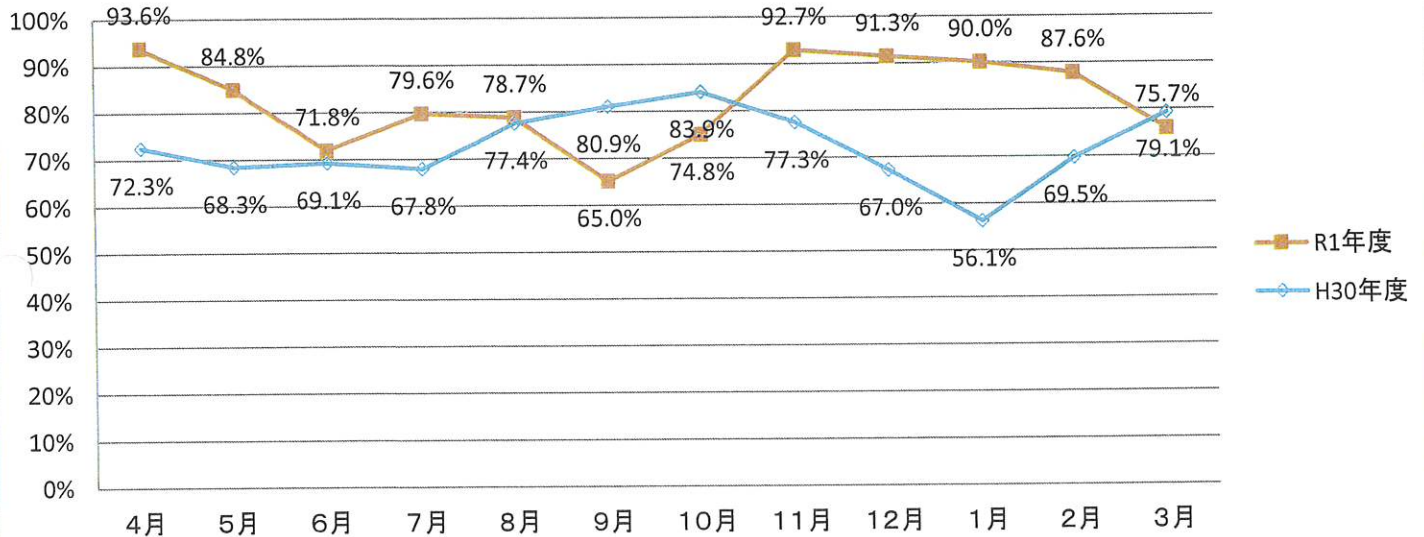
(2) 訓練プログラム

プログラム内容	結果	主な活動内容
健康管理	128回	スポーツ全般、バイタル測定、頭の体操等
コミュニケーション	38回	コミュニケーションゲーム、座談会、カラオケ等
調理・栄養管理	49回	調理、栄養講座等
金銭管理	12回	金銭出納帳の確認、次月の予算立て等
社会資源活用	23回	公共機関の利用、福祉サービスの利用について等
就労支援	71回	ボランティア活動、パソコン講座、掃除等
文化・芸術	80回	創作活動、ガーデニング等
生活支援	37回	衛生面での指導、病気の予防に関する勉強会等
個別支援	51回	モニタリング、金銭計画、相談等
フリー	48回	自主活動、買い物等
その他の行事・活動	21回	グリーンフェスタ、スポーツ交流会等
合計	558回	

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用回数	206	195	158	183	181	143	172	204	210	207	184	174	
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	82.1%
稼働率	93.6%	84.8%	71.8%	79.6%	78.7%	65.0%	74.8%	92.7%	91.3%	90.0%	87.6%	75.7%	
登録人数	12	11	10	11	11	11	12	12	11	11	11	10	11

稼働率



【9】令和元年度の振り返り

今年度は、利用者12名でのスタートであった。年度内に新規利用者3名が加わったが、入院や訓練終了となった方がおられたため平均登録人数は11名となり、週に3日程度の利用回数の方もおられるため、稼働率の平均は82.1%となった。前年度72.4%から上昇することは出来たが、次年度には4名の方が訓練終了となるため、新規の利用者の獲得と現利用者の訓練意欲を高め、継続的な参加と利用回数の向上が課題になると考える。また今年度は施設見学やはじめての1泊旅行、日帰り旅行など施設外での活動に参加することで、利用者にとって訓練終了後の選択肢が広がり、考える機会を持つことになり充実した経験を積むことが出来た。また個々の成長と今後の課題を知ることも出来た。次年度も訓練プログラムを通して課題の解決に取り組み、一人一人が自立に繋がる支援を行っていききたい。

【10】研修・勉強会参加実績

- ・令和元年10月4日 第49回熊本県精神障がい者家族大会
「誰もが孤立しない地域社会を目指して」
- ・令和元年12月10日 第10回天草こころの健康づくりの集い
「生きづらさに寄り添う～人とのつながりを通して」
- ・令和元年12月13日 令和元年度施設従事者等を対象とした虐待防止研修会

生活介護・通所介護事業 事業報告

【1】サービス内容

常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います。

【2】対象者

生活介護(障がい福祉サービス事業)

○地域や入所施設において、安定した生活を営むため、常時介護等の支援が必要な方で次に該当する方。

- (1) 障害支援区分が区分3(障害者支援施設等に入所する場合は区分4)以上の方
- (2) 年齢が50歳以上の場合は、障害支援区分が区分2(障害者支援施設等に入所する場合は区分3)以上の方
- (3) 生活介護と施設入所支援との利用の組合わせを希望する者であって、障害支援区分が区分4(50歳以上の者は区分3)より低い方で、指定特定相談支援事業者によるサービス等利用計画案を作成する手続きを経た上で、市町村により利用の組合わせの必要性が認められた方

老人デイサービス(介護保険事業)

要介護認定を受けている65歳以上の方。

65歳以上の第一号被保険者と、40歳以上65歳未満の方で疾病(特定疾病)が原因で要介護認定を受けた第二号被保険者の方

【3】施設概要

施設名称 地域生活支援センターグリーン
所在地 天草市佐伊津町401番5
定員 20名(令和2年3月31日時 登録15名)
管理者 長山 直仁

【4】運営方針

1. 利用者が自立した生活、又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事の介護・創作活動の機会の提供・日常生活能力の維持、向上のための支援を行います。
2. 事業所の実施にあたっては地域との結びつきを重視し、市町村・他の福祉サービス等と密接な連携を図るよう努めます。

【5】事業目標

- ① 職員が一丸となり、達成感や自信を引き出せるよう支援を行う。
- ② 温かい心のこもった関わり、介護ができるように努める。
- ③ 利用者が安心して通所できるよう、常に安全で明るく清潔な環境を作り、職員と利用者が信頼し合える家庭的な環境づくりに努める。
- ④ 施設内での勉強会や各種研修等に参加し、知識、技術の向上に努め、自信と信頼をもちまた、統一した支援・質の高い支援ができるように努める。
- ⑤ 趣味やレクリエーション、創作活動等を通して日中活動の充実を図り、自分のもてる持てる強みが発揮できるように努める。
- ⑥ 利用者一人ひとりの生活・障がいの状態をよく理解した上で、利用者本人が自己決定できるよう利用者中心の支援を行う。

【6】活動内容

(1) 日中活動

活動内容	主な活動内容
健康管理	体重測定、エアロビクス、散歩等、いきいき体操、ペダル漕ぎ運動
創作活動	干し柿作り、貼り絵、ぬり絵、ビーズでの小物制作
趣味活動	山菜採り、書道、散歩、編み物
社会資源活用	温泉、ショッピング、地域の行事参加
調理	料理教室(お弁当作り)、おやつ作り(誕生日会)
レクリエーション	ピクニック、カラオケ、茶話会、季節行事、地域イベント
個別支援	予定確認、金銭計画、常時相談等
その他の行事・活動	グリーンフェスタ、スポーツ交流会、講演会等

(2)年間行事報告

4月	お花見	月例行事 ・誕生日会(随時) ・DVD鑑賞会(随時) ・カラオケ(随時) ・外出行事(随時)
5月	果実狩り(晩柑)	
6月	芋植え、避難訓練	
7月	七夕	
8月	海岸ピクニック	
9月	グリーンフェスタ、BBQ	
10月	芋ほり、ふれあいピック	
11月	慰安旅行(日帰り&1泊2日)、紅葉狩り	
12月	クリスマス会、大掃除、忘年茶話会、干し柿づくり	
1月	初詣、鏡開き、焼き芋会	
2月	椎茸栽培、節分(豆まき)、女性利用者お菓子作り(バレンタインデー)	
3月	ひな祭り・男性お菓子作り(ホワイトデー)	

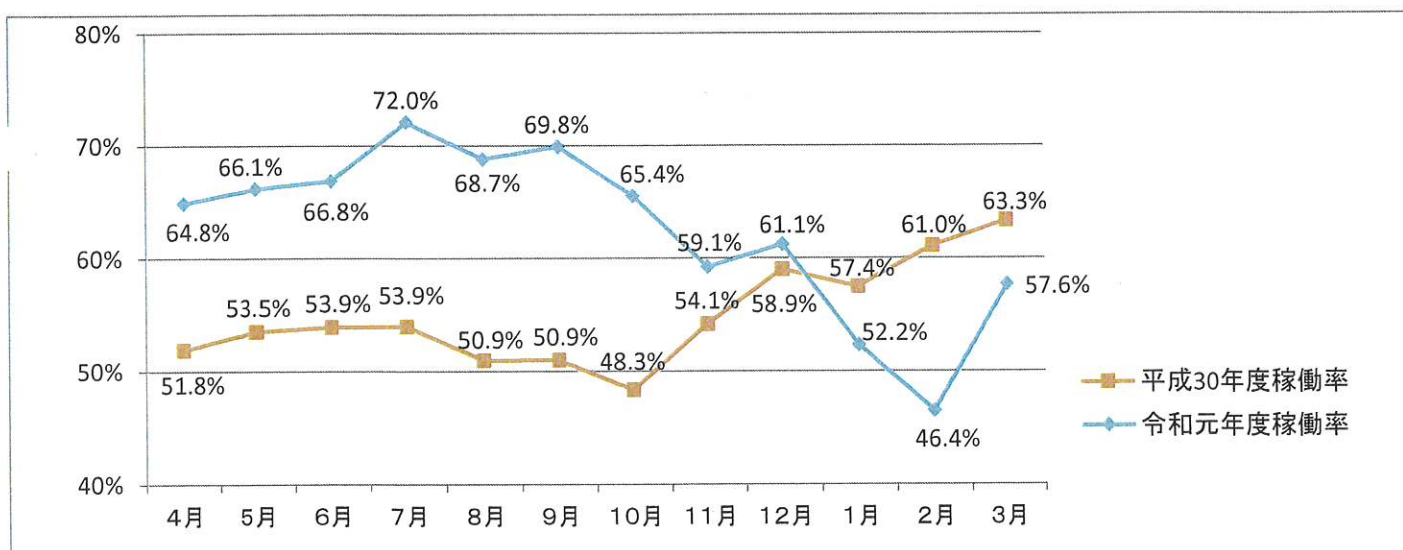
【7】利用者情報

年齢 性別	21歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳
男性	0名	0名	1名	1名	4名	0名	0名
女性	0名	0名	0名	2名	4名	2名	1名

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用回数	285	304	294	331	316	307	301	260	281	240	195	265
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23
稼働率	64.8%	66.1%	66.8%	72.0%	68.7%	69.8%	65.4%	59.1%	61.1%	52.2%	46.4%	57.6%
登録者数	14	15	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15

登録者数内訳												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活介護								10	10	10	10	10
通所介護								3	3	3	3	3
併用利用								2	2	2	2	2



【9】令和1年度の振り返り

令和元年11月より、65歳以上の利用者が介護保険内の通所介護を利用することが可能となり、より個々のニーズや介護度に応じた支援が、通いなれた環境で提供できるようになった。利用者ひとり一人のできる事を把握し、働きかけを行ったことが活動量の増加にもつながり、新しい活動内容を実施していくこともできた。新規利用者獲得を目標として、支援内容の幅を広げることから様々なケースに対応できるよう支援員もさらにスキルアップしていきたいと感じた。また、利用者の高齢化に伴い、障がいに対してだけでなく高齢者への支援に関する意識も深めていく必要性を強く感じた。

就労継続支援A型

【1】施設の名称

就労サポートセンターぴ～す

【2】目的

作業能力は高いが、一般企業に雇用される事が困難な障がい者の方で、適切な支援・雇用契約等に基づき就労して頂き、生産活動その他の活動の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他必要な支援を行う。

【3】利用対象となられる障がい者の方

生活リズム、金銭管理、服薬管理、食生活、協調性がある程度身についておられ、就労を継続して行うことが可能な障がい者の方

【4】作業内容

・製麺(うどん製造・販売) ・西岡勝次商店(雑節選別・梱包作業) ・委託農作業 ・墓地清掃作業

【5】利用定員

・10名(令和2年3月31日登録3名)

【6】利用期間その他

利用期間の定めなし。(原則65歳未満)

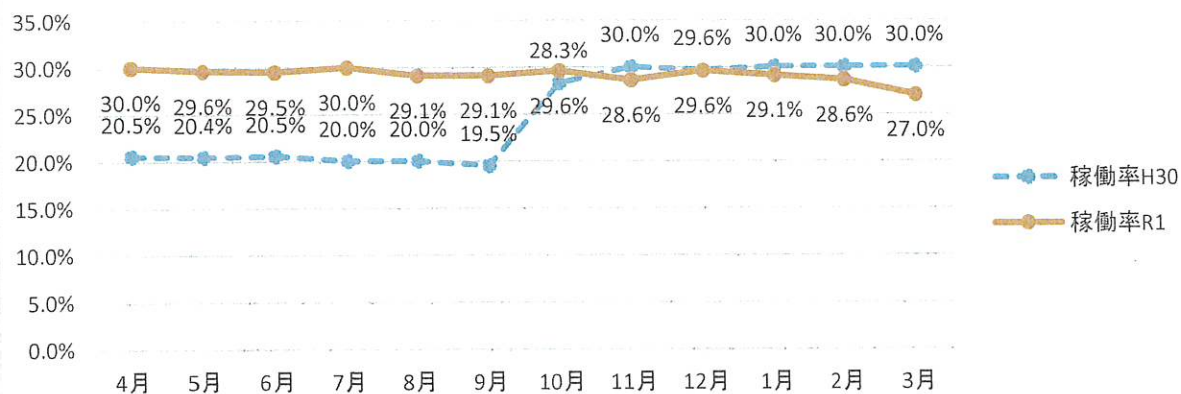
【7】販売会

期 日	販売会名称	販売場所
令和1年5月28日	天草地域家族会販売	天草広域本部(天草地域振興局)2階
令和1年6月1.2日8.9日(計4日間)	天草花しょうぶ祭り	西の久保公園
令和1年7月5日	精神保健福祉連絡協議会	天草広域本部(天草地域振興局)2階
令和1年8月23日	酒井病院夏祭り	酒井病院
令和1年10月4日	熊本県精神障がい者家族大会販売会	熊本県立劇場演劇ホール
令和1年10月13日	天草支援学校であいふれあいフェスタ	天草支援学校内
令和1年10月26日	ゆうすい祭	ゆうすい
令和1年10月26日	茶山寮秋祭り	茶山寮
令和1年10月27日	酒井病院文化祭	酒井病院
令和1年10月27日	あまくさ福祉まつり	天草市民センター
令和1年11月7日	障がい者福祉施設商品展示・商談会	熊本県庁
令和1年12月10日	こころの健康づくりの集い販売会	天草市民センター展示ホール
令和2年2月15日	天草つんのでフェスタ	天草市民センター
令和1年9月～令和2年3月(月一回)	市役所販売会	天草市役所

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者人数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
利用日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	270
延人数	66	68	65	69	67	64	68	63	68	67	60	61	786
延時間	250	265	235	304	274	253	256	268	320	271	254	221	3171
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率H30	20.5%	20.4%	20.5%	20.0%	20.0%	19.5%	28.3%	30.0%	29.6%	30.0%	30.0%	30.0%	24.9%
稼働率R1	30.0%	29.6%	29.5%	30.0%	29.1%	29.1%	29.6%	28.6%	29.6%	29.1%	28.6%	27.0%	29.2%

稼働率



【9】月別売上

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	製麺売上	年間売上
製麺売上	¥169,276	¥73,028	¥148,552	¥556,436	¥245,576	¥139,082	¥2,973,396	¥3,475,292
西岡等売上	¥73,152	¥64,008	¥64,008	¥36,576	¥53,076	¥36,576		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	西岡等売上	
製麺売上	¥251,220	¥146,797	¥932,990	¥99,792	¥145,197	¥65,450	¥501,896	
西岡等売上	¥59,880	¥37,920	¥22,980	¥47,400	¥6,320	¥0		

※R1年度 製麺売上: ¥2,973,396 西岡等売上: ¥501,896 ⇒ 計 ¥3,475,292

【10】R1年度振り返り

R1年度は利用者3名から始まり一年間を通して気分、体調不良などでの欠席は少なかったが、3名である事から年間稼働率の平均は29.2%となった。主な作業内容は製麺と施設外就労(西岡勝次商店、墓地清掃作業)があり、製麺では作業工程をB型利用者に教える機会が多くあった。4月から始まった西岡勝次商店では作業内容を覚える事から始め、慣れてこられてからは効率を考えて行動し状況に合わせて作業を行うことが出来ていた。年間売上については前年度比で¥488,674の増加となった。製麺売上は¥188,578の増加、施設外就労(西岡勝次商店、墓地清掃等)で¥300,096の増加であった。利用者3名の今後については、一般就職が一名、ぴ〜す就労継続支援B型に1名、進路が決まらず退職された方が1名となった。

【11】研修会等

- ・企画研修委員会
- ・虐待防止研修
- ・販売促進委員会
- ・HACCP研修会
- ・工賃向上計画支援研修会

【12】商品取扱店

- ・ペルラの湯舟
- ・居酒屋あまくさ村
- ・いけす料理やまもと
- ・ビーフヤヒロ
- ・とれたて市場
- ・有限会社明成
- ・藍の村観光株式会社
- ・うどんの店野の花
- ・サイバーレコード
- ・海女ちゃん食堂 乙姫屋
- ・海鮮蔵
- ・リップルランド
- ・直売所わかみや

就労継続支援B型

【1】施設の名称

就労サポートセンターぴ～す(平成25年5月1日開設)

【2】目的

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援する為、委託による農作業・訓練・創作活動・生産活動を行い、心のリフレッシュを図ると共に自らの自立心を向上できる為の支援を行います。

このサービスを通じて生産活動や就労に必要な知識や能力が高まった方は、就労継続支援(A型)や一般就労への移行を目指します。

【3】利用対象となられる障がい者の方

就労移行支援事業等を利用したが一般企業等に結びつかない方や、一定年齢に達している方などであって、就労機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上や維持が期待される方

- ① 企業等や就労継続支援事業(A型)での就労経験があるものであって、年齢や体力の面で雇用される事が困難となった者
- ② 50歳に達している者または障害基礎年金1級受給者
- ③ ①及び②に該当しない者であって、就労移行支援事業者によるアセスメントにより就労面に係る課題等の把握が行われている者

【4】作業内容

(施設内)

- ・クラフト・毛糸商品の製造・販売
- ・ちゃんぽん梱包作業(有限会社 アツカコミュニケーションズ)

(施設外)

- ・除草(一般家屋周り・公園・公共施設等)、その他
- ・小川水産(ふぐの食品製造等)
- ・西岡勝次商店(雑節製造の選別作業等)
- ・社会福祉協議会(墓地清掃管理サービス業務)

【5】利用定員

20名(令和2年3月31日時、登録24名)

【6】利用期間その他

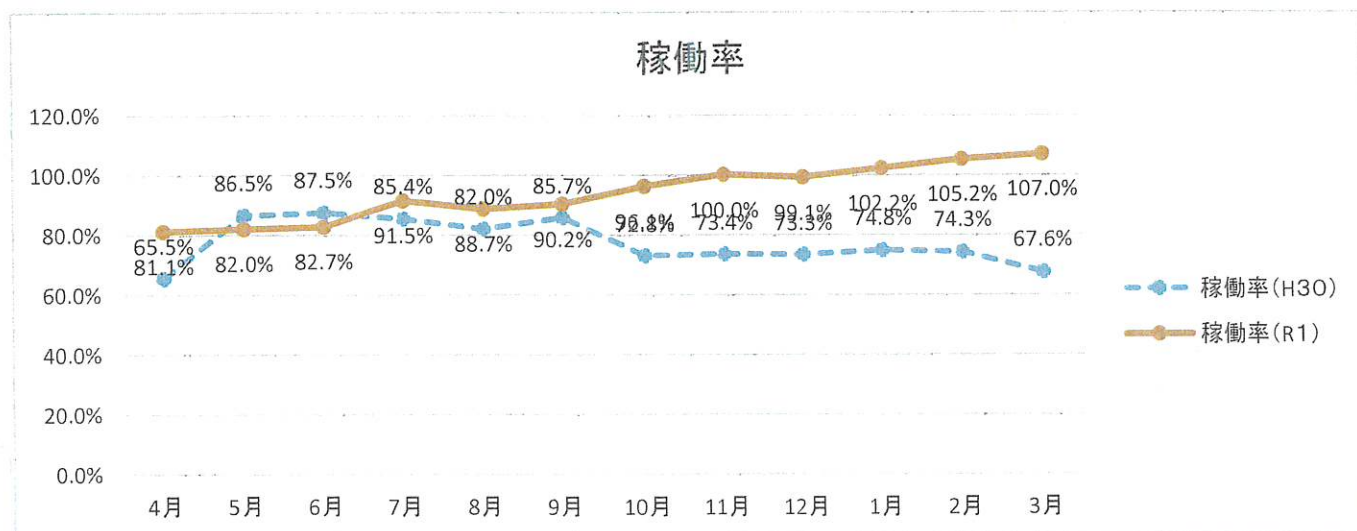
利用期間の定めなし

【7】販売会

期 日	販 売 会 名 称	販 売 場 所
令和1年5月28日	天草地域家会販売	天草広域本部(天草地域振興局2階)
令和元年6月1,2,8,9日(計4日)	第15回天草花しょうぶまつり	西の久保公園
令和1年7月5日	精神保健福祉連絡協議会	天草広域本部(天草地域振興局2階)
令和1年8月23日	酒井病院夏祭り	酒井病院
令和1年9月20日	市役所販売会	天草市市役所
令和1年10月4日	熊本県精神障がい者家族大会販売会	熊本県県立劇場演劇ホール
令和1年10月13日	天草支援学校であいふれあいフェスタ	天草支援学校内
令和1年10月26日	ゆうすい祭	ゆうすい
令和1年10月26日	苓山寮秋祭り	苓山寮
令和1年10月27日	酒井病院文化祭	酒井病院
令和1年10月27日	あまくさ福祉まつり	天草市民センター
令和1年11月7日	障がい者福祉施設商品展示・商談会	熊本県庁
令和1年11月20日	市役所販売会	天草市市役所
令和1年12月10日	こころの健康づくりの集い販売会	天草市民センター展示ホール
平成31年1月21日	市役所販売会	天草市市役所
令和2年2月15日	天草つのでフェスタ	天草市民センター
令和2年2月20日	市役所販売会	天草市市役所
令和2年3月21日	市役所販売会	天草市市役所

【8】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均稼働率
利用回数	357	377	364	421	408	397	442	440	456	470	442	492	
可能日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
稼働率(H30)	65.5%	86.5%	87.5%	85.4%	82.0%	85.7%	72.8%	73.4%	73.3%	74.8%	74.3%	67.6%	77.4%
稼働率(R1)	81.1%	82.0%	82.7%	91.5%	88.7%	90.2%	92.8%	100.0%	99.1%	102.2%	105.2%	107.0%	93.8%



【9】月別売上

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間売上
売上	¥225,360	¥331,170	¥322,320	¥284,560	¥349,910	¥323,900	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	¥4,007,254
売上	¥307,000	¥413,841	¥441,441	¥340,550	¥296,361	¥370,841	

【10】H31年度振り返り

昨年度に比べ、稼働率が上回り傾向にあるのは、利用開始から1年を過ぎた利用者の勤務の安定と4月から、概ね毎月1名の新規利用があり、10月に定員数の20名を達成、3月末までに、24名となり、後半の稼働率が、数字的にみてもよくなっている。気分や体調が安定していない利用者の出勤日数は増やせていないため、次年度も重点的課題として取り組んでいく。売上は、施設外の小川水産の時給が、11月から100円アップし、人数も1名増員して行くことができたことが売上増に繋がっている。施設内作業では、6月から始まったアツカコミュニケーションズのちゃんぽん作業も安定した売上となっている。11月、12月の年末の繁忙期とともに、売上が伸びている。その反面、年明けから、作業が落ち着いたため、売上数は平均に落ち着いている。施設内作業は、これまでクラフト作業中心に行っていたが、在庫かかえになってしまっていたため、下期より見直しを行い、現在中止している。市場のニーズに合わせたモノづくりと、今後は、商品入替、在庫管理をしっかり行っていくようにする。利用者が、安定して就労できる環境をつくり支援を行う。また、利用者の工賃アップをしていきたい。

【11】研修会等

- ・福祉サービス苦情解決研修会
- ・工賃向上計画支援研修会(基礎編)
- ・虐待防止研修会
- ・HACCP研修会

【12】商品取扱店

- ・ユメール(天草市五和町)
- ・とれたて市場(天草市瀬戸町)
- ・道の駅有明物産館(天草市有明町)
- ・直売所わかみや(天草市五和町)
- ・ウェルパルクまもと(熊本市中央区大江5丁目1-1)

介護サービス包括型共同生活援助事業 事業報告

【1】施設名

グリーントポス

【2】目的

指定共同生活援助の円滑な運営管理を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った適切な指定共同生活援助の提供を確保することを目的とする。

【3】利用定員

10名（令和2年3月31日時 登録10名）令和元年度:退所者1名、新規利用者1名

【4】利用対象者

1. 一定程度の自活能力のある知的・精神障がい者の方
2. 通院医療を継続している精神障がい者の方
3. 日中に就労又は就労継続支援等のサービスを利用している知的・精神障がい者の方

【5】利用期間 定めなし

【6】事業内容

(1)個別支援計画

- ①本人の意向に沿った計画を個別に立てて実施する。
- ②個別支援計画策定時には必ずサービス管理責任者を中心にサービス提供職員とカンファレンス会議を開催し支援の方向性を共有する。
- ③3ヶ月に1回モニタリングを行い個別支援計画が適正に行われているかを確認する。

(2)支援内容

①利用者に対する相談

利用者及び利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行います。

②食事の提供

世話人が栄養と各人の嗜好を考えて、バラエティーに富んだ献立を工夫し、提供します。（食材料費及び食事に係る水道光熱費は対象外サービスです。）

③健康管理・金銭管理の援助

服薬管理（入居者又は入居者のご家族の希望により若しくは主治医の指示で服薬管理を行います。）

・事務所で預かり、服薬を行う時間に入居者の方に手渡し、服薬して頂く。

・生活費の管理方法や使途方法等について必要に応じて相談支援を行います。

④余暇活動の支援

地域商店への単独買い物等を支援し、自主性を育てるとともに、余暇活動として地域行事の情報を提供し、参加を促進します。

⑤緊急時の対応

サービス提供中に、利用者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合は、速やかに主治の医師への連絡を行う等の必要な措置を講じるとともに、利用者が予め指定する連絡先にも連絡します。

⑥日中活動の場等との連絡・調整

日中、自立訓練事業やデイサービス等他のサービスを利用する場合、また職場に通勤する場合等に、必要に応じてサービス提供事業者や職場等と連絡・調整を行います。

⑦財産管理等の日常生活に必要な援助

食事、排泄、入浴、着替え、整容等について日常生活に必要な援助を行うとともに、財産管理に支援が必要な利用者について、成年後見制度の利用を促進するなど必要な援助を行います。

⑧夜間における支援

夜間において支援を行うものを配置し、就寝準備の確認、寝返りや排泄等の支援を行うとともに、緊急時の対応を行います。

⑨体験利用における支援

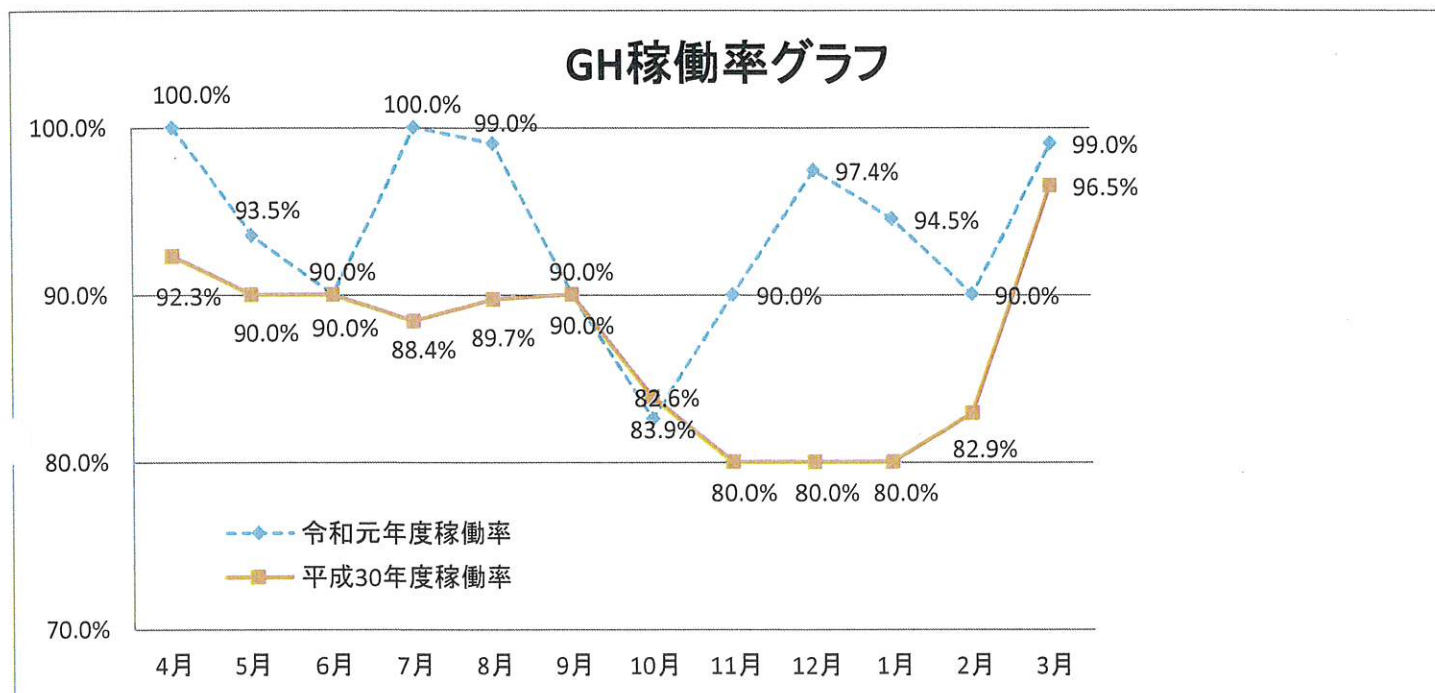
契約を希望されている方に、生活上の不安の解消等を目的として、正式な契約締結前に「体験利用」として支援を行います。

⑩その他

上記に附帯するその他必要な介護、支援、家事、相談、助言を行います。

【7】稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録者数	10	10	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
利用日数	300	290	270	310	307	270	256	270	302	293	261	307	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	
稼働率	100.0%	93.5%	90.0%	100.0%	99.0%	90.0%	82.6%	90.0%	97.4%	94.5%	90.0%	99.0%	



【8】入居者情報

性別	年齢						
	18歳～20歳	21歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳
男性	0名	0名	0名	1名	3名	3名	0名
女性	0名	0名	0名	0名	0名	1名	2名

【9】日中福祉サービス利用状況

施設名称	地域生活支援センターグリーン						就労サポートセンターぴ～す		その他	
	生活介護		通所介護		生活訓練		就労継続支援B型			
男性	3名	0名	2名	2名	0名	0名	0名	0名	0名	
女性	1名	2名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
合計	4名	2名	2名	2名	0名	0名	0名	0名	0名	

【10】会議及び研修

- 1、天草地域自立支援協議会
- 2、グループホーム職員会議
H31,4/25(木)、R1,5/21(火)、6/25(火)、7/26(金)、8/29(木)、9/25(水)、10/25(金)、11/26(火)、12/26(木)
R2,1/22(水)、2/26(水)、3/25(水)
- 3、全体会議
H31,4/1(月)、R1,5/1(水)、6/3(月)、7/1(月)、8/1(木)、9/2(月)、10/1(火)、11/1(金)、12/2(月)
R2,1/6(月)、2/3(月)、3/2(月)
- 4、利用者会議:随時

【11】令和元年度の振り返り

令和元年度は、比較的安定した運営ができたと思う。入居者は6月に1度9名になったが、すぐに10名となり現在も満室である。稼働率においても、入院した入居者もいたが長期ではなく短期にとどまったため、年間稼働率で94%近い数字を出すことができた。しかし、60歳以上の入居者が6名いることから、健康状態にも常時気を配りながら支援を進めていかなければならない。